

令和3年4月6日
大田区立道塚小学校
校長 大場 寿子

令和3年度 大田区立道塚小学校 学校経営計画

I 本校の教育目標

○すすんで学ぶ子（知） ○心ゆたかな子（徳） ○たくましい子（体）

【◎目指す児童像】

- (1) 人間尊重の精神に基づき、自他の生命を尊重し思いやりの心をもつ子
- (2) 社会生活のルールと基本的な生活を身に付ける子
- (3) 豊かな個性と創造力をもち行動し、挑戦する子
- (4) 進んで学び最後まであきらめず、人のために貢献することができる子

II 目指す学校

- (1) 児童にとって、達成感・自信・良さを見つけ認めてくれる学校
- (2) 教師にとって、プロ意識とチームで取り組める学校
- (3) 保護者にとって、信頼でき相談できる学校
- (4) 地域にとって、伝統の上にあらたな繋が生まれる学校

児童へのスローガン **よく学び、よく遊べ**

(教職員・保護者への合言葉)

III すすんで学ぶ子（知）重点項目

(1) 未来社会を創造的に生きる力

- ① 創造的に生きる力の育成のためには、土台となる体験型の活動・ICTを活用した探求型の活動・協働的な活動を充実させます。特に、地域の材を活用したカリキュラムを充実させます。また、その結果を10月15日には、「令和2・3年度大田区教育研究推進校「未来ものづくり科」の研究発表をします。
- ② 情報活用能力を育成するために、児童用タブレットPCを活用して、A情報モラル B情報検索 Cプレゼン制作 Dプログラミング的学習 E個別化された学習教材を活用しての自学自習できる力を育てます。そのために、1～6年生全クラスにICT支援員と担任で合同授業をする機会を月に1度程度、年間10回を実施します。
- ③ コミュニティスクールモデル校として「学校運営協議会」を年間4回実施します。児童の健やかな成長を願い、地域・保護者・学校が連携して、児童が地域への愛着と誇りがもてるよう見守り、育てる仕組みをつくります。

(2) 学力の向上

- ① 「算数科」における基本・基本（知識・技能）の定着を図るために、どの子も単元の振り返りのテストが80%に達するようにします。そのために学校全体で統一した「5問の計算問題」「評価問題ワーク」を活用し学期ごとに評価します。
- ② 読書の時間を充実させ、火・木曜日には、8時20分～30分までの朝読書に取組ます。そのためには、毎週2冊の本を図書館で借りて常に読書できる環境を整えます。
- ③ 学芸会の行事に向け、音読、声に出して表現する力をつけさせます。そのために、日常的に国語の時間には、音読の時間を確保し、声に出して読んだり話したりできる力を育てます。
- ④ 「家庭学習の手引き」を改訂し、児童用タブレットPCを活用した家庭学習の在り方を検討します。そのために、学力向上部で検討し、学年ごとの宿題の出し方に統一感をもたせます。火・木の補習教室を「進んで算数勉強教室」とし宿題のできない子も含め自主的な補習と家庭学習支援を実施します。

◆その他にも、学ぶ力の向上に向けて計画的に取り組めます。

【算数少人数指導のサイクル（レディネステスト・確かめプリント・テスト・補充発展学習プリント）の活用・漢字検定・読み聞かせ・家読週間・図書館司書の活用と図書ボランティア・学校支援地域本部による環境支援・体験支援・学習支援・5・6年の外国語の70時間授業・3・4年生の外国語活動の35時間・理科支援員の活用・日本語指導・合唱団による発表活動】

IV 心のゆたかな子の育成に向けて（徳）重点項目

- ① 道徳心富む子供を育てるために、特に「挨拶をすること」「時間を守ることを徹底して意識させた生活を送らせます。そのためには、生活指導部を中心に看護当番の声かけ、全教員で一致した声掛けをします。
- ② 主体性の育成のために、様々学校行事・学年行事の中に自分たちで実施してみたいこと自分達にできることを表出させる場を提供します。
- ③ 「自分にも友達にも必ず良いところがある。」を合言葉に一人一人の自尊心の向上に努めます。学年クラスの実態にあわせ、本日の「きらきらさん」などのネーミングで良さを認め本人・クラス・家庭にその良さを広げていきます。

◆その他にも、豊かな心の育成に向けて計画的に取り組めます。

【キャリアパスポートの作成・子ども心サポート月間・生命尊重週間・人権尊重週間・学校行事・縦割り活動・移動教室などの自然体験教室の実施・道徳授業地区公開講座・国際交流や近隣幼稚園、保育園との交流・自治会行事での交流・ハイパーQUの活用】

V たくましい子の育成に向けて（体）重点項目

- ① 体力の向上とスポーツを楽しむ態度を育てるために、学校における児童の遊びの時間・場所の充実を図ります。そのために、遊ぶ場所（校庭・体育館・屋上）の活用を図ると共に、朝の遊びの時間を保護者・地域と連携して遊べる時間を見直し体制を継続します。
- ② 児童の体力向上・体を動かすことの楽しさを体感するために、一校一取組として「体育朝会」を分散化して低・高で月一定例化して取組めます。
- ③ 児童の体力向上などを目指して、スポーツテスト・校内水泳記録会・学年縄跳び大会などの好記録については、「道塚記録」として認め伝統的に残していく仕組みを作ります。

◆その他にも、体力の向上と健康の増進に向けて計画的に取り組めます。

【早寝早起き朝ご飯週間・体育健康教育授業公開講座・オリパラ推進教育・体育指導補助員の活用・駅伝大会への参加と校内記録会】

VI 魅力ある環境づくりに向けて

(1) 教員の指導力の向上

プロ意識をもち、一人一人教員の資質能力の向上を目指して、校内 OJT を充実させます。そのために、A 木曜日の 15 分間の全員参加の校内研修 B 主任教諭による年間一人 2 回の若手研修 C 主幹による主任教諭の育成のための主任会の実施 D 学年会の計画的継続的实施、記録の提出を心掛けさせます。

(2) 特別支援教育の充実

サポートルームの教員・スクールカウンセラー・サポートピア・教育センター 子供家庭支援センターなどと連携し、個別適正化された対応がどの教員もできるようにします。そのためには、金曜日の生活指導夕会を十分に活用し対応の方法を共有化していきます。また、臨時のケース会議を必要に応じて実施します。

(3) いじめの未然防止・早期発見

児童一人一人が安全・安心な学校生活をおくることができるよう「いじめをしない・させない・みすぐさない」を合言葉に、クラスの居場所・役割・関係づくりに力をいれます。

◆その他にも、魅力ある環境づくりに向けて計画的に取り組めます。

【授業改善プランづくりとその実施 土曜公開授業と保護者による年間 3 回授業評価アンケート・サポートルームの意図的・計画的な実施と評価・個別指導計画・個別の教育支援計画の作成・ミムの活用による読み書きのつまずきの早期発見・支援】

Ⅶ 学校・家庭・地域が一体となって共に進める教育に向けて

学校協議会（大田区コミュニティ・スクールモデル校）を充実させます。そのために年間 4 回の会の開催と共に、それぞれの代表者の会が学校の経営計画のもと具体的にどのように連携し成果をあげるかを話し合い実施していきます。特に地域支援本部の活動を充実させるために、月 1 度の会を定例化し道塚小学校に関わる協力団体の連絡会を年に一度開きます。

- ① 校内研究に関連させ「未来ものづくり科」に必要な地域の人材をカリキュラムの中に取り込み、各教科と連動させていきます。また、外部人材を教育課程の中に計画的に位置付け、6 年間で 100 人の専門家として出会えるよう「道塚 100 人プラン」を推進します。
- ② 特に、学校支援本部の活用を見直す共に、A 環境支援 B 学習支援 C 体験支援 D 地域連携行事を中心に整理、改善を図ります。
- ③ 学校からの情報発信のために、学年・学校だよりの発信日を毎月 25 日と決め週に 1 度は、学校日記・学校ホームページの学年ページを更新します。

◆その他にも、学校・家庭・地域が連携に向けて計画的に取り組めます。

【保護者会・土曜授業公開・年間 2 回個人面談・保健的な配慮児童との保護者面談・学年行事への参観・保護者による学校評価アンケートの実施・学校関係者評価・民生・民生児童員との連携連絡会・児童相談所・福祉事務所との連携・PTA と連携した「挨拶運動」「校庭解放」など・教職員による安全点検・避難訓練・保護者による引き取り訓練・セフティ教室・保護者向け情報モラル研修】